

全連小島根大会参加者アンケート集計結果（最終結果）

記載者42件（令和4年11月8日現在）

1. 開会式・全体会・閉会式について（42件の回答、内、自由記述回答は21件）

（ア） 開会式・全体会・閉会式について

42件の回答



（イ） 意見【成果】

- ・機械トラブル等なければ、新しいやり方として十分に満足できる方法と言える。
- ・必要以上に華美にならずよかった。
- ・多少機器の調子が悪くなることはありましたが、東京と島根に分かれて実施していることを忘れてしまうくらい良かったです。
- ・今回の開催方法に賛同します。来年度以降の大会でも、ぜひ採用すべきと考えます。参集型であっても、取り入れられると思います。
- ・オンデマンドもあり、再度しっかり聴講することができた。
- ・今回のような式典に全く違和感を感じなかった。
- ・ライブ配信のおかげで、全会員が見ることができて非常に良かった。
- ・コンパクトで大変よかった。 など…

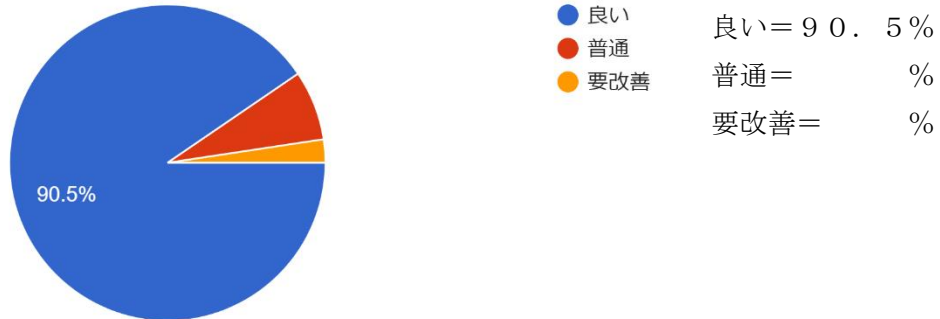
（ウ） 意見【課題】

- ・音が聞き取りにくい場面があった。
- ・文科省の資料が配布されていない。
- ・祝辞や挨拶は YouTube のライブ配信型ですと、ハウリング発生などの邪魔が入らなくていいのではないかと思った。
- ・残念ながら、文科省講話の内容があまりにも形式的だったように感じた。大変聞きづらく、せめて最初から資料があればと思います。
- ・文科省講演の際、ハウリングと文字の小ささで理解しにくかった。 など…

2. 分科会について（42件の回答、内、自由記述回答は21件）

（ア） 分科会について

42件の回答



（イ） 意見【成果】

- ・他県の発表、状況を聞くことができ参考になった。
- ・島根県の校長先生が懇切丁寧に運営、支援してくださり感謝している。
- ・協議の時間もあり、様々な意見が聞けて良かった。
- ・この状況下として最高のやり方を見出していただいた。
- ・直接、各県の校長先生方と意見を交わせたことは大変有意義であった。
- ・対面で行えてよかった。実際に顔を合わせて協議することは大切だと思う。
- ・自分が参加していない分科会の内容も聞くことができてよかった。
- ・2つの会場を結んでの形で、多様な意見が出たので良かったです。
- ・分科会は参集することの意味や意義を改めて感じました。
- ・それぞれのグループのまとめは、オンラインでも共有は十分に可能で、価値があると感じた。
- ・同じテーマで同じ立場の校長先生方と一緒に協議できたことで、参集型の価値を改めて再認識することとなりました。

など…

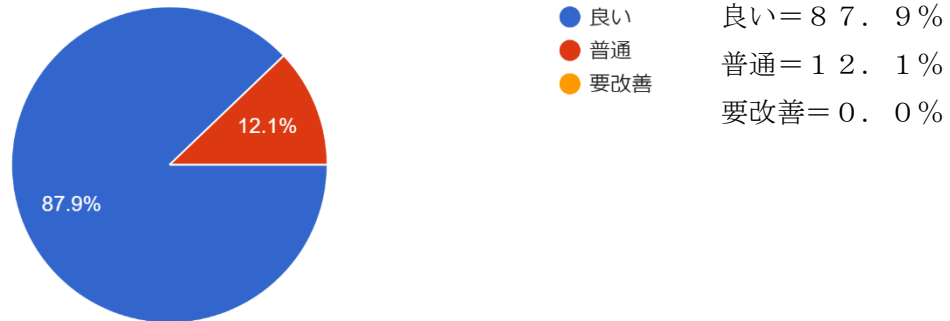
（ウ） 意見【課題】

- ・プレゼンの共有など、機械トラブルによる遅滞があったのが残念。
- ・事前に参加分科会が分かる手立てをとることができればよかったと思う。
- ・一部の参加者には電話で役割依頼があったが、若干の不安を感じた。
- ・分科会会場で、東京は2カメラ体制であり、会場の雰囲気も感じる事ができたので、島根会場も2カメラ体制をとることができればよかったと思う。
- ・発表者だけは島根県か東京で発表を行うとよかったと思う。もう少し、島根県と東京との双方向でのやりとりができるとよかったと思う。

など…

3. シンポジストによる鼎談について（33件の回答、内、自由記述回答は9件）

(ア) シンポジストによる鼎談について
33件の回答



(イ) 意見【成果】

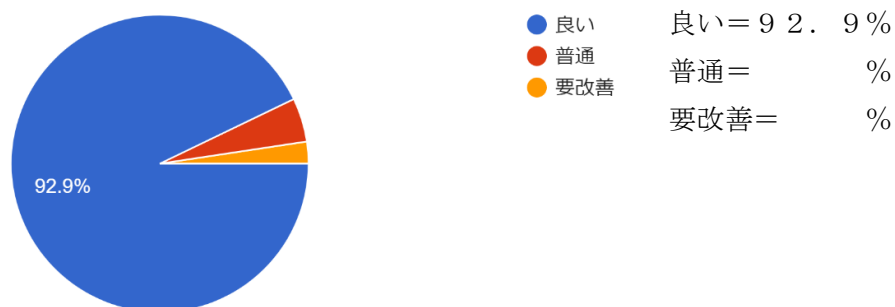
- ・島根県に関わる方々の話でよかった。
- ・多面的にふるさと島根を語っておられることがよかった。
- ・改めて、子ども達が生きる土台となる原点が「ふるさと」「ふるさとの原風景」「今生きる場所」にあることを痛感した。
- ・ある種の緊張感もあり、長時間であったが、飽きずに最後まで聞くことができた。
- ・ファシリテーターを置くことで、3名の話が絶妙に絡み、視聴していて大変面白かった。

など…

(ウ) 意見【課題】→特に記載なし

4. 大会運営全般について（42件の回答、内、自由記述回答は26件）

(ア) 大会運営全般について
42件の回答



(イ) 意見【成果】

- ・初めてのことばかりで本当に苦労されたと思う。そのチャレンジは高く評価されるべきと感じている。
- ・新たな形式として有意義であった。
- ・急な運営方法変更にも関わらず対処していただき、ありがとうございました。

- ・今年のハイブリッド開催は、開催方法の一つとして一石を投じるものであった。
- ・コロナ禍にあって、叡智を結集した開催でした。
- ・全会員への要録配布は、意義があることだった。校長の学びを止めないという強い姿勢でできたことがすばらしい。今後も継続してほしい。
- ・明日からの活力となった。また、一人ではない、多くの校長がこの校長会に所属し、悩みを聞いてくれる、同じことで悩んでいると思えることがこんな時代だからこそ大事だと実感した。
- ・やはり集まることで情報交換が活発になり、学びも深まるということを痛感した。
- ・一堂に会するのが一番いいですが、今回のような方法でも可能だといういい例になった。
- ・参集型にこだわった運営を受け入れなかった信念は立派だったと思う。
- ・島根県の校長会の組織力を感じた。
- ・全国の校長が参加できる最良の方法が提案された大会であった。

など…

☆他、感謝やねぎらいのメッセージが多数

(ウ) 意見【課題】

- ・東京会場と島根会場が分断されているように感じました。東京での開催が必要だったのでしょうか？

5. その他の意見（17件の回答）

- ・質の高い研修を行うことができた。
- ・閉会式での副会長さんの挨拶がとても心に響きました。
- ・やはり多くの方と直接会って研修を深めたかった。早くそのような開催ができることを祈っています。
- ・資料配布の案内が、講演後にありましたが、先にあった方が良かったと思う。
- ・新たな研修形式のご提案をしていただいたと感じました。
- ・参加費、弁当代、気になりました。
- ・中心となって準備された松江市の校長先生方のご苦勞に感謝します。
- ・参加の機会を得られてよかったと心から感じました。
- ・参加料も取らず、全国の2万人近い校長の手元に要録を届け、オンデマンドとオンラインの配信によって、大会のほぼ全容を視聴できることにした大会の在り方は、無駄な予算を使わず校長としての学びを止めない最良の方法として、これからの全国大会の在り方に大いに参考となるものであったと思う。

など…

☆他、感謝やねぎらいのメッセージが多数